

# 外国語『論理・表現 I』シラバス

北海道常呂高等学校

学年	2	単位数	2	授業形態	一斉	
教科書 (出版社)	MY WAY Logic and Expression I New Edition (三省堂)		副教材等 (出版社)	四角化ドリルで語順が見えるチャンクで積み上げ英作文 Basic (三省堂)		
学習 目標	【到達目標】英語学習の特質から、「話すこと(やりとり)」、「話すこと(発表)」、「書くこと」の3つの領域について資質・能力の一体的な伸長を図ります。上記の目標を達成するために、授業では主に次に示す取り組みを目指します。					
	ア 関心のある事柄や日常的な話題について、やり取りする語句や文などを手本にして自分の考えや気持ちを伝えよう。					
	イ 日常的・社会的な話題について、話し合いの進め方のルールに従い、理由や根拠を示しながら意見を発表しよう。					
ウ 学校生活や身近な話題について、ICTを活用しながら、まとめた内容を英文にしてみよう。						
学習 方法	Sや【話すこと(やりとり)】会話を続けるために必要な表現について学びます。話すことを楽しみましょう。					
	S発【話すこと(発表)】あらかじめ用意して自分の意見を伝える活動があります。文法表現も押さえましょう。					
	W【書くこと】意見を言うだけでなく、しっかり論理的な展開や理由も時間をかけて書けるようにしましょう。					
学 習 評 価	評価の観点		評価の観点の趣旨			
	ア	知識・技能	・さまざまな背景のある話題について、書かれたり話されたりする英文を理解して、伝えることができる。(Sや) ・自分の意見を整理し、身に付けた表現を使って聞き手に伝わりやすいように工夫して話すことができる。(S発)			
	イ	思考・判断・表現	・伝達したい話題や情報を表現する際に必要な日本語と英語の発想の違いを理解して書くことができる。(W) ・さまざまな話題や内容についてメモをとったり、要点を考えたりしながらやりとりすることができる。(Sや)			
	ウ	主体的に学習に取り組む態度	・自分の経験したことや、聞いたり読んだりしたこと、学んだことなどを積極的に伝えようとしている。(S発) ・基本的な文法事項などについての理解をさらに深め、コミュニケーションを図ろうとしている。(Sや)			
観点	評価方法	①	②	③	④	⑤
		実力考査	単元考査	パフォーマンス テスト	授業内活動	提出物の内容等
ア			○	○	○	○
イ			○	○	○	○
ウ			○	○	○	○

## 学習計画

学期	単 元		学習内容	評価の観点			評 価 規 準	評価 方法
	ア	イ		ウ				
前 期 中 間	Lesson 1 Let's talk about Ourselves	Part 1 現在形 (be動詞)	初対面の挨拶	○	○	○	学校の場所について基本的な語句や文を用いて、即興で事実などを尋ねたり、初対面のあいさつをしたり、自分自身のことについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表したりすることなどができる。	②③ ④⑤
		Part 2 現在形 (一般動詞)	自己紹介のスピーチ	○	○	○		②③ ④⑤
	Lesson 2 School Life	Part 1 過去形 (be動詞, 一般動詞)	好きだった教科についての会話	○	○	○	学校に関連することなどについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合ったり、それらを整理し、正確に書いたりすることなどができる。	②③ ④⑤
		Part 2 現在進行形 過去進行形	部活動を紹介する記事の原稿	○	○	○		②③ ④⑤
	前期単元考査		(1)インタビューテスト (2)ライティングテスト	○	○	○	(1)まとまりのある文章の音読、内容に関する質問、自身に関する質問に英語で答えることができる。 (2)身近な事柄について理由を付けて自分の意見を書くことができる。	③
前 期 期 末	Lesson 3 The Arts	Part 1 未来表現	週末の予定についての会話	○	○	○	芸術に関連することなどについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合ったり、それらを整理し、発表したりすることなどができる。	②③ ④⑤
		Part 2 基本時制の まとめ	好きな絵についての発表	○	○	○		②③ ④⑤
	Lesson 4 Food and Culture	Part 1 現在完了形①	料理を注文するときの会話	○	○	○	食に関連することなどについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合ったり、それらを整理し、正確に書いたりすることなどができる。	②③ ④⑤
		Part 2 現在完了形② 現在完了進行 形	日本の食文化を紹介するレポート	○	○	○		②③ ④⑤
	Lesson 5 Welcome to Our Town	Part 1 助動詞	道案内の会話	○	○	○	旅行や地域の文化に関連することなどについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合ったり、それらを整理し、発表したりすることなどができる。	②③ ④⑤
		Part 2 受動態	地域の特徴やマスコットキャラクターについての発表	○	○	○		②③ ④⑤
	前期単元考査		プレゼンテーション	○	○	○	興味・関心、体験など身近な題材について、学んだ文法表現や語彙を用いて相手にわかりやすく伝えることができる。	③

学期	単 元		学習内容	評価の観点			評 価 規 準	評価方法
				ア	イ	ウ		
後 期 中 間	Lesson 6 Traveling Abroad	Part 1 不定詞①	買い物の会話	○	○	○	旅行や海外の文化に関連することなどについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合ったり、それらを整理し、正確に書いたりすることなどができる。	②③ ④⑤
		Part 2 不定詞②	旅行先から友だちへのメール	○	○	○		②③ ④⑤
	Lesson 7 Sports	Part 1 動名詞	スポーツの試合についての会話	○	○	○	スポーツに関連することなどについて、基本的な語句や文を用いて、事実などを即興で伝え合ったり、それらを整理し、発表したりすることなどができる。	②③ ④⑤
		Part 2 分詞の後置修飾、 分詞構文	車いす競技を紹介する発表	○	○	○		②③ ④⑤
	Lesson 8 Future Mobility	Part 1 比較①	未来の交通のよさについての会話	○	○	○	科学技術に関連することなどについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合ったり、それらを整理し、正確に書いたりすることなどができる。	②③ ④⑤
		Part 2 比較②	科学技術製品を紹介する記事の原稿	○	○	○		②③ ④⑤
後期単元考査		(1)インタビューテスト (2)ライティングテスト	○	○	○	(1)まとまりのある文章の音読、内容に関する質問、自身に関する質問に英語で答えることができる。 (2)身近な事柄について理由を付けて自分の意見を書くことができる。	③	
後 期 期 末	Lesson 9 Take Care	Part 1 関係代名詞①	病院での会話	○	○	○	健康や体調に関連することなどについて、基本的な語句や文を用いて、事実などを即興で伝え合ったり、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、発表したりすることなどができる。	②③ ④⑤
		Part 2 関係代名詞②	健康についての発表	○	○	○		②③ ④⑤
	Lesson 10 Technology Changes Our Lives	Part 1 関係副詞	科学技術についての会話	○	○	○	近代の科学技術に関連することなどについて、基本的な語句や文を用いて、事実や自分の考え、気持ちなどを即興で伝え合ったり、それらを整理し、正確に書いたりすることなどができる。	②③ ④⑤
		Part 2 仮定法	感謝のメッセージを発表	○	○	○		②③ ④⑤
後期単元考査		プレゼンテーション	○	○	○	高校卒業後の将来の夢や目標について、学んだ文法表現や語彙を用いて相手にその根拠を示しながら積極的に伝えることができる。	③	

授業に必要な道具について

- ・授業用ノートまたはルーズリーフ（授業で学んだことを書きましょう。）
- ・授業用ファイル（ワークシートや配付資料等をはさみましょう。）
- ・Chromebookなどのタブレット